冷枚白描羅漢　二十幀

五拾貳歸

257
8-2
1-8
国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

曹日瑛　字淵行号恒斎工書
陳溥　字永叔号南陵康熙
金棍？字汉寧号赤衣雑画
混儀　字可象号紀堂康熙
進士授翰
周亮沂字念修号早白又号耕
康熙癸丑進士
銭元昌字朝宋号堅梵堂又一
康熙辛丑進士官
作折枝花又工詩

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

弟子冷枚薰沐敬寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

觀世音大士

大佛頂首楞嚴經云爾時觀世音菩薩即從座起頂禮佛
足而白佛言世尊憶念我昔無數恒河沙劫於時有佛出
現於世名觀音音我于彼佛發菩提心彼佛教我從聞思
脩入三摩地初於聞中入流亡所所入既寂動靜二相了
然不生如是漸增聞所聞盡聞不住覺所覺空空覺極
圓空所空滅生滅既滅寂滅現前忽然超越世出世間十
方圓明獲二殊勝一者上合十方諸佛本妙覺心與佛如
来同一慈力二者下合十方一切六道衆生與諸衆生同
一悲仰世尊由我供養觀音如来蒙彼如来授我如幻聞
熏聞脩金剛三昧與佛如来同慈力故令我身成三十二
應入諸國土

雲間徐榮疇敬書

朝陽補衲

冷枚

佛謂大迦葉曰吾將
金縷僧伽黎衣付汝
汝其轉授補處慈氏
佛竢其出世宜謹守
之大迦葉奉佛勅
秀水朱稻孫謹書

朝陽補衲

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

印月談經

冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8

ガラス使用

金剛經尊重弟子第十二度
次須菩提隨從是經乃至四句
偈等當知此處一切世間天人阿
脩羅皆應供養如佛塔廟何況
有人盡能受持讀誦須菩提當
知是人成就最上第一希有之法
若是經典所在之處即為有佛若
尊重弟子

印月談經半樂居士 王時鴻沐
手敬書

印月談經

冷枚

入定煉魔

慎齋冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

十二祖焉鳴大士復羅秦國此也次名玏
勝既受洛已闡揚於華氏國脊魔名迦毘
摩羅眷屬三千由禮佐諸神變祖曰汝盡
禍分化性滿得虗魔曰何謂性澥祖曰性
發現迦毘摩羅嘗言念加問難知祖理勝
遂發信心弃捨三千俱求勒度禮乃名五
百應眞與具戒

露間王祖愼敬書

慎齋冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

面壁示禅

慎齋冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

初祖達磨寓止嵩山少林寺面壁而坐有
僧神光者博覽羣書善談元理聞祖住止
過膝祖問曰久立雪中當求何事光曰願
開尚慈悲開甘露門廣度羣品祖因以易
名曰慧可可曰諸佛灌印可得聞乎祖曰
諸佛法印匪從人得可曰我心未寧乞師
安心祖曰將心來與汝安可良久曰覓心
了不可得祖曰我與汝安心竟 正宗記

秋浦書曰瑛書

慎齋冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

天苍飛舞

吉臣
枚寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

維摩詰經云時維摩詰室有一天女見諸
天人聞所說法便現其身即以天華散諸
菩薩大弟子上華至諸菩薩即皆墮落至
大弟子便着不墮一切弟子神力去華不
能令去爾時天問舍利弗何故去華答曰
此華不如法是以去之天曰勿謂此華為
不如法所以者何是華無所分別仁者自
生分別想耳若於佛法出家有所分別為
不如法若無所分別是則如法觀諸菩薩
華不着者已斷一切分別想故辟如人畏
時非人得其便如是弟子畏生死故色聲
香味觸得其便也已離畏者一切五欲無
能為也結習未盡華著身耳結習盡者華
不著也

雲間王祖纘敬書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

貝葉緇經

冷枚恭寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

法護月支國沙門也学究三六國道
術善通賫梵本還晉武帝世歸敦煌
因居燉煌世號敦煌菩薩譯法華經
曰正法華者是也及江左晉
懷帝永嘉中隨安譯經來雲智傳
時優婆塞聶承遠執筆助翻委曲審悉
西晉以來宣譯經典
義有殊功 桓桓衛石志承書

冷枚恭寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

指上屠樓

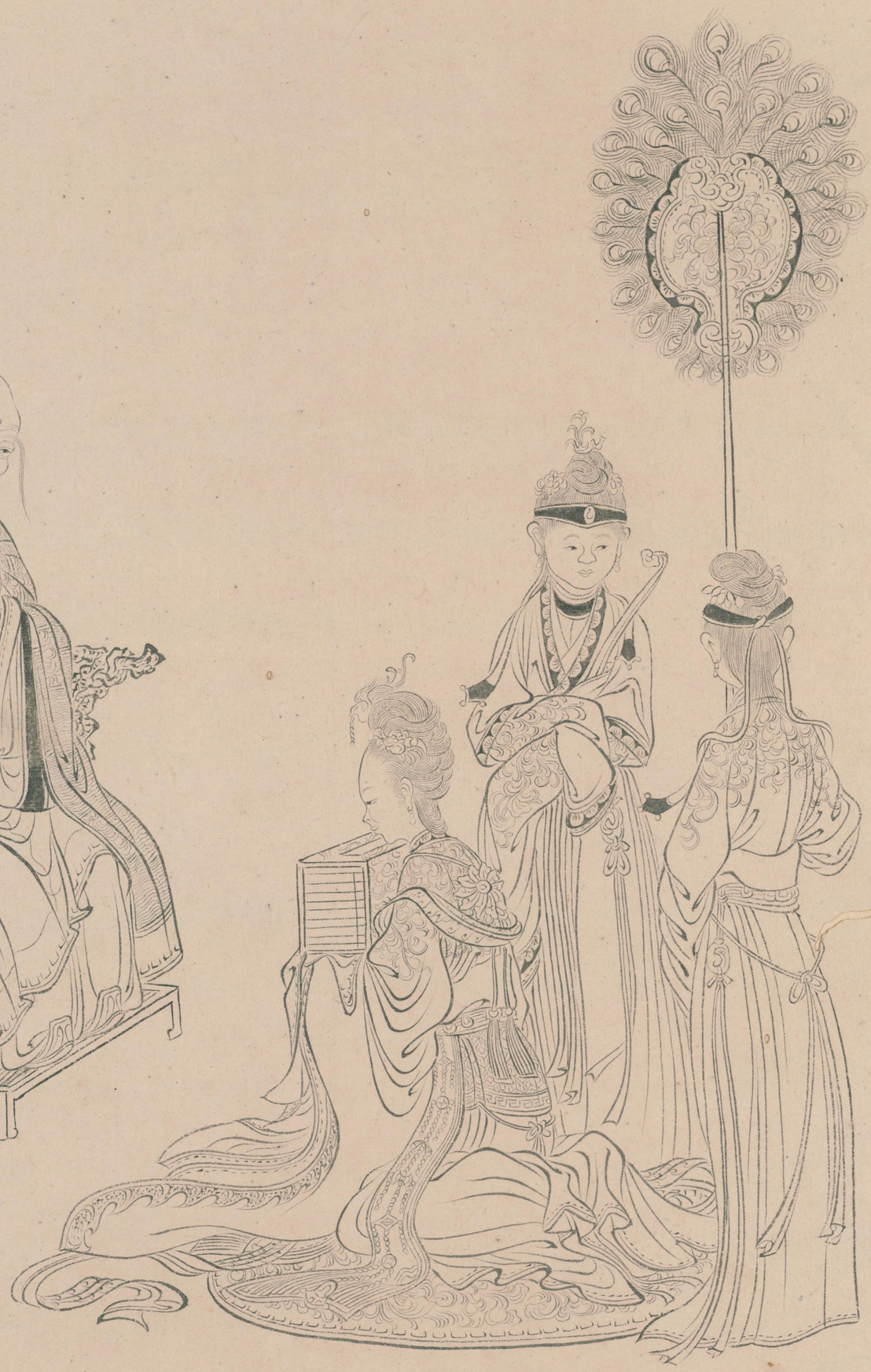
冷枚敬畫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

東天竺國阿育王碎七寶末造八萬
四千寶塔盡收西域及龍宮所藏
世尊舍利一一塔之命耶舍尊者舒
指放光八萬四千道令捷疾鬼各隨
一光盡處安置一塔遍娑婆界震旦
國者一十九所 阿育王塔傳

天台陳溥敬書

龍女受經



膠西冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

法華經文殊師利言我於海中惟常宣說妙法華經智積
問文殊師利言此經甚深微妙諸經中寶世所希有頗
有衆生勤加精進脩行此經速得佛不文殊師利言有娑
竭羅龍王女年始八歲智慧利根善知衆生諸根行業得
陀羅尼諸佛所說甚深祕藏悉能受持深入禪定了達
諸法於刹那頃發菩提心得不退轉辯才無礙慈念衆
生猶如赤子功德具足心念口演微妙廣大慈悲仁讓志意
和雅能至菩提　龍女受經

丁酉清和穀旦王時濟敬書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

道高伏虎

冷枚敬寫

沙門竺道猷卽帛道猷也初止剡之
石城山是年又移台州始豐赤城山
坐禪石室有羣虎馴蹲於前猷誦經一
軍獨睡猷以如意扣其頭云何不聽
經經畢馴皆去尋有大蛇十圍竟來
環遶舉頭向猷半日而去一日有男
子来前曰弟子夏帝之子居此二十
餘年今往安石山輒推室以相奉遂
鳴鞞吹角凌雲而去 伏虎

錫山王賚書

冷枚敬寫

徳重降龍

冷枚敬寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

德重降龍

十三祖迦毘摩羅大士既得法於馬鳴行化至
西印度國名雲自在請供養不久曰城北大山
有一石窟可住禪寂祖諾行數里逢一大蟒祖
與授三皈依蟒脫去至石窟又北十里有大樹
蔭覆五百大龍其樹王名龍樹常為龍衆説法
迎祖曰深山孤寂龍蟒所居大德至尊何枉神
足祖曰我非至尊來訪賢者龍樹默念曰此師
得決定性明道眼否是大乘纔真乘否祖曰汝
雖心語吾已意知樹聞悔謝求度祖即度之

高輝敬書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

神通服家

東溟冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

智度論曰龍象言其力大水行中
龍力大陸行中象力大故負荷大
濟者比之釋彦琮傳通極論曰身邊
則金色一丈眉間則白毫五尺開
卍字拾寫煎躡千輪拾足不力格
香象氣冠神功
神通服象

雪厓金昆書

東溟沙門

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

法力馴狮

東漠冷枚

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

法力馴獅

王城西南五百里有善持山
山頂東南有惡達太子石
室室西三里天帝釋化為
獅子當路蹲坐遮媾姑之
衆石上毛尾爪跡今惡炳
然　丁酉四月

溫州儀

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

蘇東坡十八大阿羅漢第三尊頌曰我非標人人莫我識是雪衣者豈具眼隻方食知獻何娓於猿為語栁子勿憎王孫

右猿猴獻果贊　錢塘周本治書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

華萍獻壽

冷枚恭畫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

觀無量壽佛経云欲觀彼佛者
當起想念於七寶地上作蓮華
想令其蓮華一一葉上作百寶色
有八萬四千脈猶如天畫脈有八
萬四千光了了明皆令得見

華華献寿

汝泉周補奏

佛在心頭

東溟冷枚畫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

傳大士心王銘

觀心空王元妙難測無名無相有大神力能滅千災成就萬德
體性雖空能施法則觀之無形呼之有聲為大法將心戒傳經
水中鹽味色裡膠青決定是有不見其形心王亦尒身內居停
而門出入應物隨情自在無礙所作皆成了本識心識心見佛
是心是佛是佛是心念々佛心念佛欲得早成戒心自律
淨律淨心心即是佛除此心王更無別佛欲求成佛莫染一物
心性雖空貪嗔體實入此法門端坐成佛到彼岸已得波羅蜜
慕道真士自觀自心知佛在內不向外尋即心即佛即佛即心
心明識佛曉了識心離心非佛離佛非心非佛莫測無所堪任
執空滯寂于此漂沉諸佛菩薩了此安心明心大士悟此元音
身心性妙用無能改是故智者放心自在莫言心王空無體性
能使色身作邪作正非有非無隱顯不定心性雖空能凡能聖
是故相勸好生防慎剎那造作還復漂沉清淨心智如世黃金
般若法藏盡在身心無為法寶非淺非深諸佛菩薩了此本心
有緣遇者非去來今　香林居士陸榮和敬書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

福神參禮

膠西冷枚

釋曇邕従道安瀼師出家次事廬山遠公後於
廬山四十餘營立禅門忽果沉思禅門
有男子年姿端雅従者二十人来請五戒邕荷
蘆授之三皈五戒為説法要神是山神乃為秉
禮拜辭別倏忽襯邕冰國匕勤不見

錫山王紹曾書

膠西冷枚

心空六擾

東溟冷枚寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

心空六擾

蘇東坡十六羅漢茅三尊贊

曰幻體有累法身無着乞法

兩忘圓明寥廓以大願力援

諸有情見聞乘惡入真妄一真

獅峯居士敬録

東溟冷枚寫

頑石點頭

吉臣枚寫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

羅什法師弟子道生初涅槃經後品未至生
熟讀久之曰阿闡提人自當成佛此如来未盡
耳於是文字之師交攻之誣以為邪説於律
當擯生袖手来晉入平江庸立山豎石為徒
講涅槃經至闡提有佛性處曰如我所説義
契佛心否羣石皆首肯之後遊匡山居銷
景巖聞曇無讖在北涼重譯涅槃後品至
南京果言闡提皆有佛性生喜慰不自勝

丁酉四月武原錢元昌書

康熙丁酉春三月
冷枚薰沐敬畫

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8
ガラス使用

韋馱像讃

吉雲諨諨　慧日煌煌　洪惟天尊　巍巍堂堂
現童真身　建般若幢　被精進鎧　耀玉毫光
執金剛杵　降衆魔王　立大法願　為法金湯
護大法寶　提大法綱　燃大法燈　引大法航
法竿屹立　法海汪洋　施大法雨　如河如江
轉大法輪　恒沙刼長　塵ヒ刹刹　顯現道場
隨機攝受　加被無疆　度脫衆苦　躋極樂邦
奉佛授記　調御十方　千佛補處　十號永彰

弟子徐王昱敬書

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用

257

冷枚畧傳

冷枚字吉臣膠州人焦秉貞弟子供奉內廷工人物尤工士女康熙辛卯與画萬壽盛典閣總裁則王原祁也

引證書目

熙朝名画錄　画徵錄

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』　請求記号　寄別8-2-1-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『冷枚白描羅漢』 請求記号 寄別8-2-1-8

ガラス使用